第５講
地誌に関する論述問題

［５－１］

中国の地誌に関する問題です。総合的にいろいろな内容が問われていますので，自分の弱点を見つけるには最適の大問です。

（１）は基本ですね。答えを言ってしまいましょう。山脈Ａはチンリン山脈，河川Ｂはホワイ川です。

さらに（２）についても難しくないでしょう。正解は「え」と「お」です。「え」の西岸海洋性気候は西ヨーロッパなど偏西風の影響が強い地域にみられるもので，中国は該当しません。「お」の熱帯雨林気候は年間を通じ高温かつ多雨である低緯度地域の気候で，こちらも中国にはみられません。

「あ」の温暖湿潤気候は華中など。「い」の温暖冬季少雨気候は華南など。「う」の砂漠気候は内陸部のシンチヤンウイグル自治区など。「か」の冷帯冬季少雨気候はシベリア高気圧の影響の強い東北地方など。

（３）は，Ｃがチベット族，Ｄがチョワン族となります。それぞれの自治区（チベット自治区，コワンシーチョワン族自治区）も確認しておいてください。

ではここからが本番ですね。論述問題にチャレンジしていきましょう。

まず（４）について。この河川は黄河です。乾燥地域を流れる外来河川の代表例で，中国の古代文明を支えました。流域における環境問題について言及することが求められています。50字と比較的長い字数制限であるので，２つのトピックを取り上げるのが適切に思われます。

チベット高原北部を水源とする黄河は，中流部で黄土高原の乾燥地帯を通過します。この地域では，世界中の乾燥地域と同様に砂漠化の進行が深刻です。また斜面に耕地を開くことによって生じる土壌侵食（土壌流出）の被害が大きい地域でもあります。土壌侵食は日本ではあまり見られないため普段はほとんど意識することはありませんが，アメリカ合衆国においても非常に深刻な環境問題であり，知識を固めておくことが必要でしょう。

さらに下流側の華北平原は大都市が連続する人口稠密地帯であり，小麦などの

栽培が盛んな農業地帯でもあります。生活用水や農業用水の供給が過剰であり，このため流水が涸れてしまうという問題が生じています。この現象を「断流」と言いますので，文字数制限に収めるためにもこのキーワードを使って，水が不足する状況を説明してみましょう。また，水資源の有効な利用のためにダムも多く作られているのですが，ダム湖に大量の土砂が堆積し，貯水量が減少してしまうという問題も発生しています。あるいは，ダム以外の場所でも，土砂により河床が上昇するため，洪水が頻発しています。こういったことを意識しながら，ポイントを整理しつつ，50字以内にまとめてみてください。

続いて（**5**）に進みましょう。今度は40字ですので，さらに文章を効率よくまとめることが求められています。中国の人口抑制政策である一人っ子政策がテーマとなっています。一人っ子政策自体は，2015年に廃止されていますが，このように問題として取り上げられることはあるでしょうから，知っておくべきです。中国人口の90％を占める漢民族に適用され，少数民族は適用外です。もっと詳しい規定もあるのですが（例えば都市と農村で条件が異なる，夫婦のどちらかが漢民族でない場合には適用されない，双子の場合は許容されるなど），以下のように大雑把に知っておけば十分です。

大きく３つのポイントがあります。一つ目は男女比の不均衡。後継として男子を求める傾向が強いため，例えば妊娠時に女児と判明した場合には中絶が行われることもあるそうです。あるいは富裕層の場合は，最初の子供が女子だった場合には，罰金を払ってでも二人目の子供をもうける例もみられます。

二つ目は過保護の問題。家族にとって唯一の子供であるので，どうしても過保護となり，わがままな性格になりやすいとも言われています。食事も十分に与えられ，肥満児の割合も高まっています。

三つ目は「黒孩子（ヘイハイズ）」の問題。黒孩子とは密かにもうけた戸籍外の子供であり，いわゆる闇っ子です。届け出をしていないので，教育や医療などのサービスを受けることが困難になります。現在こうした子供の数は1000万人以上に上るという統計もあります。黒孩子という特殊な用語を論述問題で使用するのはあまり好ましいとは思われないので，ここでは「戸籍外の子供の増加」というような表現を用いるべきでしょう。

もちろん，将来的には急激な高齢化が進みますし，生産年齢人口の減少による経済活動の停滞や社会保障費負担の増加などの問題も考えられます。ただし，今回は40字という字数制限もあり，そうした発展的内容に触れることはできない

と思われます。

さらに(６)では経済特区の説明です。このような地理用語については，普段から意識して勉強しておくようにしてくださいね。過去問を研究すれば，出題率が高いキーワードについては十分に予想できると思います。

さて，その経済特区ですが，ここでは60字という比較的長い字数制限が与えられており，どうやって字数を稼ぐかが肝となります。例えば，最も簡単に書こうとすれば「税制面などで優遇し，外国企業を積極的に誘致した地区」でおしまいなのですが，もちろんこれでは全然字数が足りません。例えば「華南」という場所を取り上げたり，「1970年代後半から」という年号を入れることも可能でしょう。さらには「労働集約型の製造業が進出」，「輸出を前提として生産活動を行う」など，より深い内容にコミットしてもいいかもしれません。先の外国企業については「外資の導入」と言い換えても構いませんし，工業の種類にしても「輸出指向型工業」と詳しく語ることもできます。さらに中国の政策として「改革開放」の文字を入れてもいいでしょう。「外国の技術を導入」も有りでしょう。内容は簡単なのですが，字数を満たすためにさまざまな工夫が必要になります。決まった正解はありませんので，各自の判断で文章を紡いでみてください。

経済特区名については，シェンチェンが最も有名ですが，アモイ，スワトウ，チューハイ，ハイナン島も該当します。

最後の問題(７)も(６)と似た傾向があります。つまり，書くべき内容は簡単なのに，字数が必要以上に多いのです。「民間企業関係者」の割合が高いことは納得ですね。つまり日本企業がそれだけ多く進出しているのです(日本企業については，日系企業でも，日本企業の現地法人という言い方でも特に構わないと思います)。しかしこれだけでは字数が満たせません。例えば，どういった日本人が多く滞在しているのかについて言及してもいいでしょう。「管理」や「技術指導」でしょうか。あるいは，日本企業が多く進出していることの理由や結果について触れてもいいかもしれません。「中国との経済交流はさらに深まっている」などのように。論述問題では，この問題にとどまらず，書くべき内容と字数制限とのアンバランスがしばしばみられます。こうした問題が問われた場合に「いかにして字数を稼ぐか」というテクニックもぜひ身につけて欲しいものです。

なお，日本の長期滞在者が最も多い中国の都市についてはシャンハイで間違いないでしょう。そもそも中国最大の商工業都市ですし，輸出加工区(プートン新区)が設けられているなど，日本企業の進出も盛んです。政府関係の仕事ならば首都

のペキンが多いのでしょうが，グラフを見る限り，政府関係職員の数は限定的ですし，ペキンにおける日本人の数がシャンハイを上回るとは思えません。

(注)「市」としての人口はチョンチンがシャンハイを上回るものの，チョンチンの市域は極めて広大で一般の省と同じ規模であり，両者の比較は単純にはできません。実質的な都市の範囲を示す「都市域」人口を比較した場合，中国最大の人口を有する都市はシャンハイとなります。統計上１位のチョンチン，実質的に都市としての規模が大きいシャンハイであると理解してください。例えばシャンハイについては「中国最大の商工業都市」という言い方がしばしばされます。

[５－２]

ユーラシア大陸をテーマとした地誌問題ですが，内容は自然環境に偏っています。科学的な視点によって，事象を解析していきましょう。

設問Ａの(１)から解いていきましょう。３つともほぼ同じ緯度ですので，太陽から受け取る熱エネルギーは等しく，本来ならば気温の高低に違いはないはずなのです。しかし，**図２**にあるような変化が生まれる理由は何なのでしょうか。

最も西に位置するａの判定は容易と思います。ユーラシア大陸のウラル山脈(おおよそ東経60°の経線に沿っています。アラル海が目安となります)以西のヨーロッパ地域は，偏西風の影響が強く，年間を通じ気温や降水量に大きな変化がみられない，穏やかな気候となります。海流の影響を受ける西ヨーロッパの大西洋沿岸で最もこの傾向は顕著なものになりますが，ａについてもそれにならった気候がみられると予想して構わないでしょう。

ｂとｃの判定は困難です。大陸性気候がみられるという点においては共通しています。ここは夏の気温に注目してみましょう。ほとんど同じ緯度，同じ大陸性気候という条件でありながら，**ウ**の方が夏は冷涼となっているのです。これはどういった理由が考えられるでしょう。このことについては「標高」を考えるべきですね。標高が高い分だけ気温が逓減されているわけです。ｂとｃ，高原に位置しているのはどちらでしょうか。少し知識は必要ですが，周辺の地形も含めて考えれば解答は導けると思います。

さらに「冬期の気温が地点ごとに異なる理由」について考えていきましょう。aは明確ですね。上述したように「偏西風」の影響を述べればオッケイです。さすがに海洋性気候とまでは言えないのですが，他地点のような顕著な大陸性気候はみられません。bとcについては，同じく先に述べたように「標高」について言及したいのですが，ちょっと待ってください。イとウを比較した場合，夏の気温差と冬の気温差には大きな違いがあるのです。夏の気温の違いについて標高の違いで説明したとしても，冬の気温についてはそれ以上の違いがあるのですから，これについては他の要因を挙げないといけません。ポイントになるのはcの位置です。北半球の寒極オイミャコンがロシア東部に位置するように，ユーラシア大陸高緯度地域において冬期の気温がとくに低くなるのはシベリアを含む東部一帯なのです。偏西風の影響もおよばず，シベリア中央部には巨大な高気圧（シベリア高気圧）が発生し，冬の気温は極端に低下します。このことを踏まえ，cの冬の気温の低さを説明してみてください。単に「シベリア高気圧の影響」としても構いませんし，「大陸内部から吹き出す寒冷な風の影響」でもいいですし，あるいは「放射冷却」といった言葉を用いることも可能です。

（２）は家畜の種類と飼育頭数に関する問題です。乾燥地域の羊が最大のポイントになりますが，馬がモンゴル中心に飼育されていることを知っておくべきでしょう。

さらに（３）は湖に関する問題です。２つのトピックで60字なのですから，１つにつき30字で論述しないといけません。事例をシンプルに説明しましょう。
湖Ｓはバイカル湖です。周辺でパルプ工業が発達していますが，この工業は製品処理時に廃水を生じ，湖水の汚濁の原因となります。
湖Ｔはアラル海です。流入する河川の水量が減少したことで湖面が縮小しました。綿花栽培のための灌漑用水として河川水が用いられたことが原因です。
これらのことがらについて字数を絞り，さらに「気候」や「人為」というキーワードを使用してまとめてみましょう。

［５－３］

ラテンアメリカの地誌に関する問題です。まず最初に貿易統計が示されていま

すが，ここで国名を間違うと致命的なミスとなります。統計は共通テストでも頻繁に出題される部分でもありますので，論述対策以前の基礎的な知識として，必ずマスターしていきましょう。

では，その貿易統計を参照しながら，Ａ～Ｅの国を特定しましょう。Ａは輸出総額が極めて大きく，原油や自動車の輸出が多いことからメキシコとなります。NAFTA（現USMCA）に調印する国であり，アメリカ合衆国などと自由貿易が成立していることから，貿易額が大きくなるのです。Ｂも同じく輸出額が大きいのですが，こちらは大豆の輸出に特徴があり，ブラジルに該当します。人口規模が大きく，ラテンアメリカ最大の経済規模（GNI）を有する国です。Ｃは輸出品の上位品目が大豆など農産物で占められているという変わった傾向を持つ国で，アルゼンチンに該当します。Ｄはやや難解ですが，原油と石炭の輸出に特徴があり，コロンビアです。南アメリカ大陸の国は数が限られているので，全ての国について貿易品目をまとめておきましょう。Ｅはアルミナとボーキサイトからジャマイカとなります。カリブ海の小さな島国ですが，ボーキサイトの産出に特徴があります。

では問題を見ていきましょう。

まず（１）ですが，ジャマイカについての説明が求められています。ラテンアメリカの他の国々とは異なり，イギリスによって植民地支配されていました。先住のインディオが白人による迫害や伝染病の流行によってほぼ死に絶えてしまい，後に流入した黒人奴隷の子孫が国民の大部分を占めています。奴隷たちは主にサトウキビ栽培に従事していました。公用語は英語です。「歴史」について論述することが求められていますが，これについては「旧イギリス植民地」という内容に触れるだけでいいでしょう。文字数には比較的余裕がありますので，論述はさほど難しくないのでは。

さらに（２）ですが，いわゆるパタゴニア地方に関する内容です。南アメリカ大陸南部の地域をパタゴニア地方といい，西側はチリ，東側はアルゼンチンです（このアルゼンチン側のみをパタゴニア地方という場合もあります）。チリ側は湿った偏西風がアンデス山脈に吹き込む風上斜面側に当たり，降水量は極めて多くなります。沿岸にはフィヨルドによる複雑な海岸線がみられ，周囲は農業には適さないものの，豊かな森林地帯となっています。アルゼンチン側は，偏西風の風下斜面側に当たり，アンデス山脈から乾いた風が吹き降す少雨地域となっています。

ステップ気候や砂漠気候がみられる荒涼な台地では，粗放的な牧羊が営まれる他，最近は油田の開発が盛んに行われています。今回は用語を答えるだけの問題ですが，パタゴニア地方については論述問題としての出題も十分に考えられますので，整理しておくと良いでしょう。

（３）は農産物の原産地がポイントになっています。みなさんもよく知っていると思いますので，答えを言ってしまいますね。Ｙが「コーヒー」です。コロンビアの主要な輸出品目の一つとなっています。コーヒーの世界最大の生産国および輸出国はブラジルですが，経済規模が大きいブラジルにおいてはコーヒーの経済的価値は決して高くありません。これに対し，コロンビアはコーヒーの世界４位の生産国であり，同じく世界３位の輸出国ですが，経済規模が小さく，貿易額そのものもブラジルに比べ少ないため，輸出総額に占めるコーヒーの割合が高くなります。

また「アマゾン川流域が原産」でありながら，現在は東南アジアで栽培が盛んな商品作物は「天然ゴム」ですね。原産地域が問われることが多いので，必ず整理しておきましょう。

（４）もとくに問題ないでしょう。特定の一次産品（商品作物や鉱産資源）に依存した経済で「モノカルチャー経済」が正解です。Ｘはブラジルで輸出が多いので，「鉄鉱石」となります。

（５）は70字と比較的長文による説明が求められているので苦労しそうですね。段階を追って記述しましょう。

Ａ国はメキシコです。メキシコは経済規模（GNI）に比して貿易額が大きな国なのですが，その背景にはアメリカ合衆国との関係があります。メキシコの安価な労働力の利用を目的として，国境を越え多くの機械組み立て工業がアメリカ合衆国から進出してきました。当初，工場が集中していたのは国境線に沿う一帯で，マキラドーラとよばれる保税輸出加工地区でした。まず，解答の前半では「アメリカ合衆国との国境沿い」，「マキラドーラ」は強調して記述しないといけません。やがて1990年代前半にカナダを含めた３カ国でNAFTA（北アメリカ自由貿易協定）が調印されると，自由貿易の範囲はメキシコ国内全域へと広がりました。アメリカ合衆国から進出する工場の範囲も，メキシコシティ周辺など国境線から遠く離れた地域へと拡大します。解答の後半では「NAFTA」をキーワードとして，この

様子を論じてください。もちろんこれだけでは文字数を満たすことができないかもしれませんので，後は的外れにならない範囲で様々な語句を付け加えると良いでしょう。「労働集約」や「より安価な労働力を求めて」，「さらに両国の貿易依存関係は強まった」，「近年では電気機械だけでなく自動車の工場の立地も目立つ」など，いろいろ考えられるのではないでしょうか。自動車工場が立地している（つまりアメリカ合衆国から工場が進出している）「モンテレー」という都市名を挙げるのも一つの手ですね。都市名は，こうした論述問題でも利用できる可能性があるので，たくさん知っておくと得ですよ。

最後の（６）については地理ではめずらしく法律に関する問題ですが，非常に出題率が高い話題なので確実に解答できるようにしておきましょう。よく知られている事例とは思いますので，「出入国管理法の改正」，「日系人に限り外国人単純労働力の受け入れ」，「日系人人口の多いブラジルからの入国が増えた」など，うまくキーワードを組み合わせて説明してください。

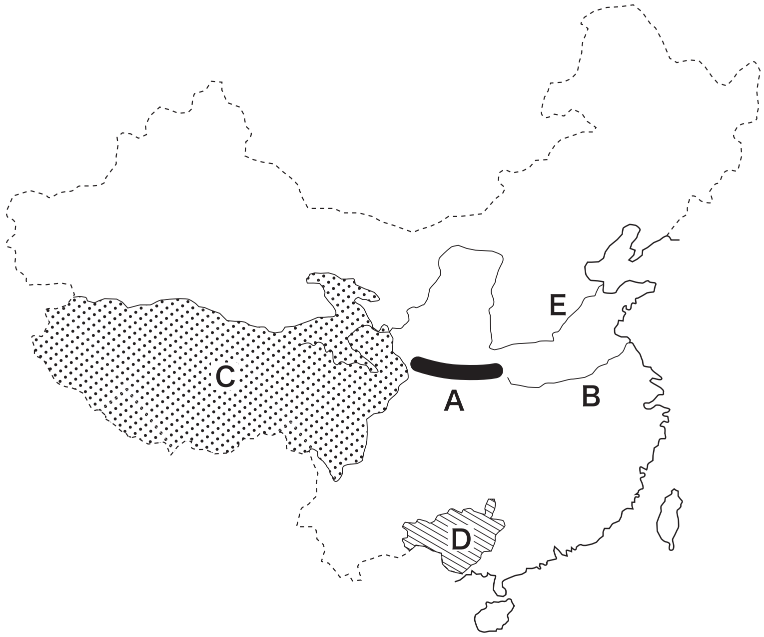
（注１）NAFTA（北米自由貿易協定）は現在失効し，その発展型であるUSMCA（米国・メキシコ・カナダ協定）が2020年に発効されています。内容に細かな差異はあるものの，現状で３カ国の貿易に大きな変化は現れておらず，細かな理解は不要に思います。名称のみ覚えておきましょう。

（注２）日本国内のブラジル人の登録者・在留者数は1990年代前半には急増したものの，2000年以降は停滞傾向にあることも知っておきましょう（減少もしくは微増）。リーマンショックによる不況や東日本大震災の影響などによります。

第５講　練習問題

［５－１］ 京大　2011年度・第３問

下の地図を見て，問（１）〜（７）に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については，句読点も字数に含めよ。



問

（１）地図中の，北部の畑作地域と南部の稲作地域を分ける山脈**A**（解答欄①）と河川**B**（解答欄②）の名前を答えよ。

（２）中国は国土が広大であり，国内の気候が多様である。中国でみられない気候を，以下の**あ**〜**か**から２つ選べ。

あ　温暖湿潤気候
い　温暖冬季少雨気候
う　砂漠気候
え　西岸海洋性気候
お　熱帯雨林気候
か　冷帯冬季少雨気候

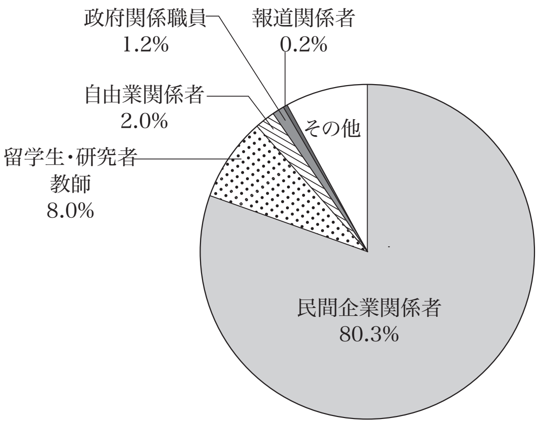
（３）地図中の地域Ｃ（解答欄①）と地域Ｄ（解答欄②）に分布する主要な少数民族名を答えよ。

（４）地図中の河川Ｅの流域においてどのような環境問題がみられるか，50字以内で述べよ。

（５）中国では，漢民族の１組の夫婦に子供は１人とする一人っ子政策が，1979年に始まった。この結果，出生率は低下したが，問題点のあることも知られている。どのような問題点か，40字以内で述べよ。

（６）近年における中国の工業生産の伸びは著しいが，そのきっかけとなった経済特区について，60字以内で説明せよ（解答欄①）。また，経済特区名を１つ挙げよ（解答欄②）。

（７）下の図は，2008年において中国に長期滞在している日本人の職業別割合を示したものである。民間企業関係者が圧倒的に多い理由を，50字以内で述べよ（解答欄①）。さらに，日本人の長期滞在者が最も多い中国の都市を挙げよ（解答欄②）。



資料：外務省領事局政策課『海外在留邦人数調査統計』

［５－２］ 東大　2012年度・第１問

ユーラシアとアメリカ合衆国の自然・産業・文化に関する以下の設問Ａ～Ｂに答えなさい。解答は，解答用紙の(イ)欄を用い，設問・小問ごとに改行し，設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問Ａ

次の**図１**は，北緯50°を中心にユーラシア大陸の一部を示したものである。同じ北緯50°付近であっても，自然環境は場所によって大きく異なる。

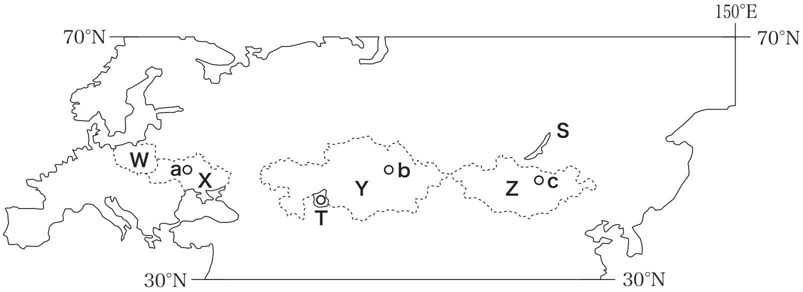


図１

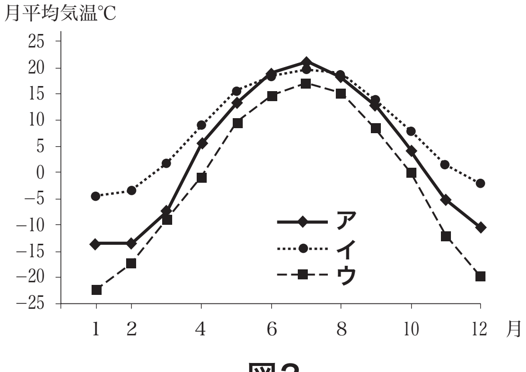
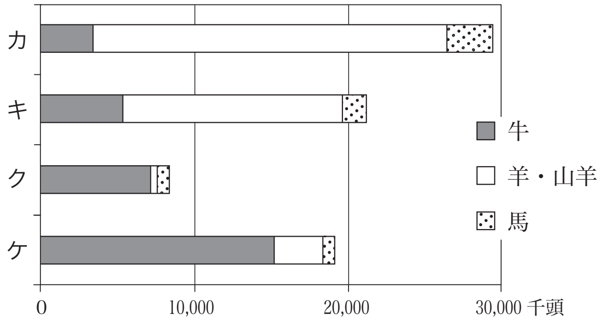


図２



FAO資料による。

図３

（1）**図2**は，**図1**中の**a**，**b**，**c**の各地点の気温の年変化を表したグラフである。**ア～ウ**に該当する地点の記号を，**ア－○**のように答えなさい。また，冬期の気温が地点ごとに異なる理由を，60字以内で説明しなさい。

（2）**図3**は，**図1**中の**W**，**X**，**Y**，**Z**の各国で飼育されている牛，羊・山羊，馬の頭数を示している。**カ～ケ**に対応する国の記号を，それぞれ，**カ－○**のように答えなさい。

（3）**図1**の湖**S**と湖**T**について，周辺の流域環境との関わりにふれながら，湖水深と水質の特徴，ならびにそれらの最近の変化に関して，下記の語句を全部用いて60字以内で説明しなさい。語句は繰り返し用いてもよいが，使用した箇所に下線を引くこと。

気候　人為

（4）（省略）

設問B（省略）

［５－３］ 京大　2013年度・第４問

ラテンアメリカに関する以下の文を読み，問(１)～(６)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については，句読点も字数に含めよ。

アメリカ大陸のメキシコ以南の地域はラテンアメリカと呼ばれている。ラテンアメリカは，中央アメリカ，(ア)カリブ地域，アンデス地域，アマゾン川流域の熱帯地域，コノ・スール(南の円錐)とよばれる(イ)南アメリカ南部地域の５地域に分けることができる。下の表のＡ～Ｅは，上記の５地域からそれぞれ１か国を選んだものである。

ラテンアメリカの多くの国では，(ウ)プランテーション作物や鉱産資源など，(エ)特定の一次産品を先進国に輸出する経済が続いていたが，20世紀半ばから工業化が試みられるようになった。(オ)1990年代になると，いくつかの国においては急速に工業化が進展していった。下の表のＡ，Ｂ，Ｃの３か国は，1980年代には巨額の累積債務を抱えていたが，今ではG20(主要20か国・地域)の一角を占めている。その一方，これらの国々でも国内の地域格差はいぜんとして解消されず，農村から都市への人口移動は継続し，(カ)国外で出稼ぎする人も増加している。

表　ラテンアメリカ５か国(Ａ～Ｅ)の2008年の主要輸出品目

国	輸出総額(億ドル)	上段：輸出額の上位５品目 下段：各品目が各国の輸出総額に占める比率(％)				
Ａ	2,912.6	原　油 14.9	テレビ 7.7	自動車 7.4	通信機器類 6.1	自動車部品 4.0
Ｂ	1,979.4	Ｘ 8.4	原　油 6.9	大　豆 5.5	鶏肉類 3.0	航空機 2.8
Ｃ	700.2	油かす 10.2	大豆油 7.0	大　豆 6.5	トウモロコシ 5.0	石油製品 4.6
Ｄ	376.3	原　油 24.7	石　炭 12.2	石油製品 7.3	Ｙ 5.1	切り花 2.9
Ｅ	24.4	アルミナ 51.1	石油製品 17.9	アルコール類 6.2	ボーキサイト 4.7	砂糖類 4.3

資料：The 2009 International Trade Statistics Yearbook(http://comtrade.un.org/)

問

(１)下線部アの地域にある前の表のＥ国は，ラテンアメリカのほかの４つの地域の国々には見られない文化的特徴をもっている。その特徴を，歴史，住民，言語という側面から50字以内で述べよ。

（**２**）下線部**イ**の南緯40度以南の地域において，太平洋側と大西洋側の自然環境は大きく異なっている。太平洋側の海岸に特徴的な地形を解答欄①に，大西洋側において卓越する気候区を解答欄②に答えよ。

（**３**）下線部**ウ**の代表的なものの１つに前の表の**Y**がある。アフリカ大陸を原産地とするこの農産物**Y**の名称を解答欄①に答えよ。また，アマゾン川流域が原産地だが，現在ではアメリカ大陸以外の熱帯地域が主要な生産地となっている輸出用商品作物の名前を解答欄②に答えよ。

（**４**）下線部**エ**の経済の名称を解答欄①に答えよ。また，表中の**X**に該当する鉱産物の名称を解答欄②に答えよ。

（**５**）下線部**オ**について，**A**国の輸出向け工業の立地は，1994年のNAFTA（北米自由貿易協定）成立を契機として大きく変化している。その変化の特徴を70字以内で述べよ。

（**６**）下線部**カ**に関して，**B**国では日本に出稼ぎする人が1990年代になって増加している。その背景について，50字以内で述べよ。

第５講　確認テスト

［１］　東大　2007年度・第１問

ヨーロッパの自然環境に関連する以下の設問Ａ～Ｂに答えなさい。解答は，解答用紙の(イ)欄を用い，設問・小問ごとに改行し，設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問Ａ

ヨーロッパの自然環境のおいたちに関する次の文章を読んで，以下の小問に答えなさい。

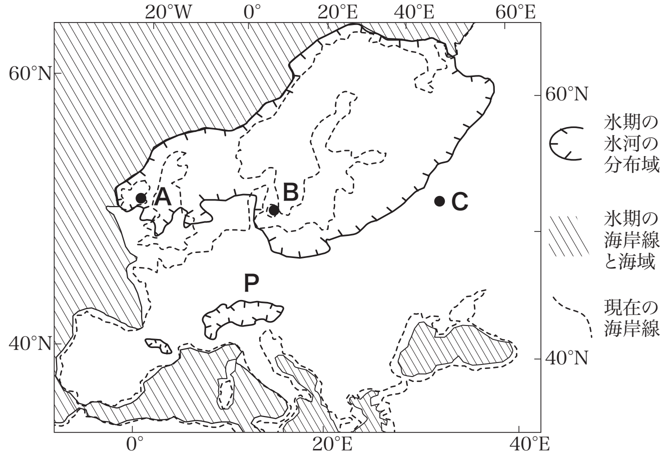


図１

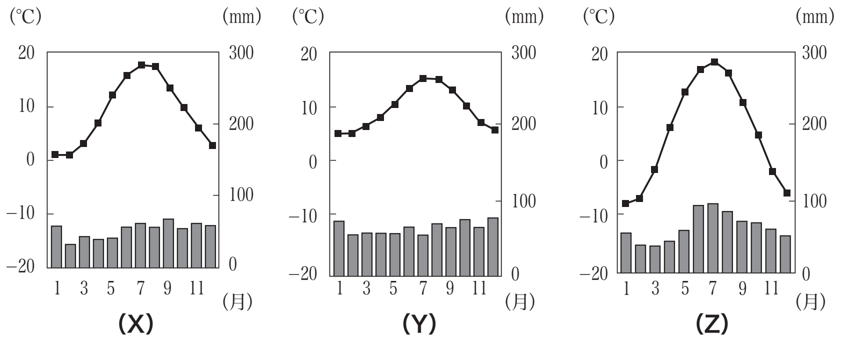


図２

地球では，過去約200万年の間に，寒冷な時期（氷期）と温暖な時期（間氷期）とが約10万年周期で繰返し訪れた。現在は間氷期にあたるが，氷期には高緯度地域や高山地域は広く氷河に覆われた。上の**図１**は，ヨーロッパにおける氷期の氷

河の分布域と，（ａ）氷期と現在の海岸線の位置を示したものである。**図２**は北緯55度付近に位置する主要都市と現在の気温と降水量のグラフである。氷河の侵食作用が形成された谷地形は，その特徴的な横断面形から[**ア**]と呼ばれる。スカンジナビア半島西岸では，[**ア**]に海水が侵入してできた[**イ**]を（ｂ）冬季も海水が凍結しない天然の良港として利用してきた。また，氷期に氷河が覆った地域には，（ｃ）湿地や湖がしばしばみられる。バルト海南部沿岸地域やイギリスでは，土壌がやせているため，[**ウ**]中心の農業が行われている場所が多い。そのうち，**図１**のＰ地域では，大きな標高差と気候の季節変化を生かした[**エ**]が行われている。

（１）ア～エに入る適切な語句を答えなさい。

（２）図２のＸ～Ｚは，図１中のＡ～Ｃの都市のいずれかの気温と降水量の年変化を表したグラフである。Ｘ～Ｚがいずれの都市に対応するか，Ｘ－〇のように答えなさい。

（３）下線ａについて，氷期の海岸線は現在の海岸線とどのような位置関係にあるか。そのような位置関係の変化が生じた理由とともに60字以内で述べなさい。

（４）下線ｂの理由を30字以内で述べなさい。

（５）下線ｃでは，近年の人間活動によって，水質が変化し，生態系の破壊が深刻化している。この環境問題はどのようなものか，30字以内で述べなさい。

設問Ｂ（省略）

第５講
練習問題・解答

［５－１］

（１）①　チンリン山脈　②　ホワイ川

（２）え・お

（３）①　チベット族　②　チョワン族

（４）中流域では砂漠化や土壌流出，塩害が生じる。下流域では生活用水や工業用水の需要増により断流が生じる。(49字)

（５）男児が女児より多くなる。戸籍外の子供の増加。将来的に急激な高齢化が進行する。(38字)

（６）①　改革開放政策で華南沿岸部に設けられ，税制面の優遇で外国企業を積極的に誘致。労働集約型の機械工業など集積した輸出加工地域。(60字)

②　シェンチェン（アモイ，スワトウ，チューハイ，ハイナン島）

（７）①　低賃金労働力が得られ，経済規模も大きい中国には多数の日本企業が進出し，技術指導者などが派遣される。(49字)

②　シャンハイ

［５－２］

設問Ａ
（１）ア－ｂ　イ－ａ　ウ－ｃ　大陸西部のａは偏西風の影響で冬期でも温暖である。シベリア南部に近いｃは巨大なシベリア高気圧の影響で冬期とくに寒冷とな

る。(60字)

(２)カ－Z　キ－Y　ク－W　ケ－X

(３)湖Sは深い淡水湖。パルプ工業の廃水流入で汚濁が進む。湖Tは乾燥気候の浅い塩水湖。灌漑に起因する人為的な影響で湖水が減少。(60字)

［５－３］

(１)イギリス植民地時代にサトウキビ栽培が始められた。住民は黒人奴隷の子孫が多数を占め，英語が使用される。(50字)

(２)①　フィヨルド　②　砂漠気候

(３)①　コーヒー　②　天然ゴム

(４)①　モノカルチャー経済　②　鉄鉱石

(５)かつてはアメリカ合衆国との国境に沿うマキラドーラに工場が立地していた。現在は国内全域が自由貿易圏となり，メキシコシティ周辺にも工場が進出。(69字)

(６)出入国管理法の改正で日系人に限り外国人単純労働者の就業が認められたが，日系人はブラジルに多いため。(49字)

〈***Note***〉

第５講
確認テスト・解答と解説

［１］

設問Ａ

（１）ア－U字谷　イ－フィヨルド　ウ－酪農　エ－移牧

（２）Ｘ－Ｂ　Ｙ－Ａ　Ｚ－Ｃ

（３）氷期の海岸線は現在より後退し北海など大陸棚の多くの部分は陸化していた。大陸氷河の発達で海水面は100mほど低下していた。(60字)

（４）沖合を暖流の北大西洋海流が北上し，冬季の海水温が高いため。(29字)

（５）化石燃料の大量消費による酸性雨で，水域が強酸性化した。(27字)

＜解説＞

（１）ア・イ　ノルウェーの沿岸部などにみられるフィヨルドは，氷河の侵食谷であるU字谷に海水が侵入して形成されたもの。ウ・エ　氷河によって侵食された土地はやせており穀物栽培に適さないため，主に牧草地として酪農が行われます。移牧は酪農の一種で，アルプス山脈などでみられる高度差を利用した牧業です。

（２）気温年較差に注目しましょう。沿岸部のＡで最も気温年較差が小さく，内陸部のＣで大きくなります。

（３）当たり前のことを書けばいいと思います（しかし，案外とこういったパターンの方が難しいものですが)。ここでは「北海」や「100m」など具体的な地名や数字を入れていますが，もし確実に知っている知識があれば，うまく文章に利用してください。

（４）単に「北大西洋海流」とするより，それが「暖流」であることを付け加えた方がいいでしょう。また海流の流れ方（今回は「北上」）について述べるのも必須です。

（５）「人間活動」なので「化石燃料の大量消費」の語句は必要でしょう。そこから「酸性雨」に結びつけてください。環境問題は因果関係をはっきりさせることが肝心です。